



電子機械設計・製作II

後期17回 システム試験

青木悠祐
小谷 進
香川真人

牛丸 真司
大沼 巧

年間スケジュール (後期)



電子機械設計・製作II (3単位：週2回6コマ)										
Week 1	10/2	(月)	P.3	基本設計・試作	Week 8	12/4	(月)	P.6	システム統合	
	10/6	(金)			Week 9	12/8	(金)		P.7	システム試験・改良
Week 2	10/13	(金)	P.4	詳細設計・試作	Week 10	12/11	(月)			
	10/16	(月)				12/15	(金)			
Week 3	10/20	(金)			Week 11	12/22	(金)	-		システム統合確認会議
	10/23	(月)			Week 4	1/12	(金)	-	発表会準備	
10/27	(金)	-	1/13	(土)		-	MIRS発表会			
Week 4	10/30	(月)	P.5	パート開発 部品製作・回路作成 ・プログラミング	Week 12	1/15	(月)	-	社会実装実験	
Week 5	11/6	(月)				Week 13	1/19			
Week 5	11/7	(火)			1/22		(月)			
Week 6	11/17	(金)			Week 14	1/26	(金)	P.8	開発完了報告	
	11/20	(月)	1/29	(月)						
Week 7	11/24	(金)	P.6	システム統合	Week 15	2/2	(金)			
	11/27	(月)				2/16,19	(金・月)			
Week 8	12/1	(金)								

前期はプロジェクト企画・システム提案、後期はシステム開発

V字モデル開発フロー



P.1 製品企画

MIRS発表会

P.2 システム提案
(要求定義)

プロトタイプ

上流
工程

P.3 基本設計

プロトタイプ

P.4 詳細設計

実装

下流
工程

P.5 部品製作
回路製作
プログラミング

社会実装

P.7
システムテスト

P.6
システム統合
結合テスト

P.0
単体テスト

段階的
詳細化

段階的
統合化

12/4まで選出：MIRS発表会実行委員

担当	内容	備考
演出（４）	発表会全体の演出 （スケジュール、進行手順など）	司会も担当する
機材（４）	機材借用（音響設備、電源ケーブル等） 機材運用（照明・プロジェクタ・録画）	チームプレゼン中の 照明等の運用はチーム で行ってもよい
設営（８）	会場・展示ブース設営	各チーム２名
広報（４）	受付・案内表示・誘導・アンケート・投票の準備と実施、１・２年生への宣伝	

- ・（）内の数字は必要人数を示す
- ・各チームで１名（設営のみ２名）を選出する。
- ・各チームのプレゼン担当予定者以外で担当する。（演出、機材には入れないこと）
- ・各担当に教員１名を配置する。
- ・各チームのプレゼン時の演出・PC等運用は演出チームで行う。

MIRS発表会実行委員



担当	MIRS 2301	MIRS 2302	MIRS 2303	MIRS 2304	担当 教員
演出（4）	武田	山本凜	渡邊	中野	青木
機材（4）	田中	池ヶ谷	肥田	長岡	小谷
設営（8）	小野 石川	千葉 早川	公野 金子	遠藤 國嶋	香川
広報（4）	山本弥	和田	長瀬	杉山	大沼

各リーダーは担当教員と顔合わせをしてください
今後はリーダーを通じて各担当に連絡してもらいます

12/11 広報：D1,D2へのアナウンス

- 12/11(月) 14:50-16:20にD1,D2合同でD科キャリア教育を行います @大教室
- 16:00-16:20にD4からD1,D2へのMIRS紹介の時間を取ります

<チームへの依頼>

- 各チーム最低2名の学生を選出してください
 - 広報メンバー+1名以上
- 当日、システム提案ポスターを持参し、各チーム3分程度でアピールしてください

<広報チームへの依頼>

- 12/8(金)に打ち合わせをしましょう

カタログ製作

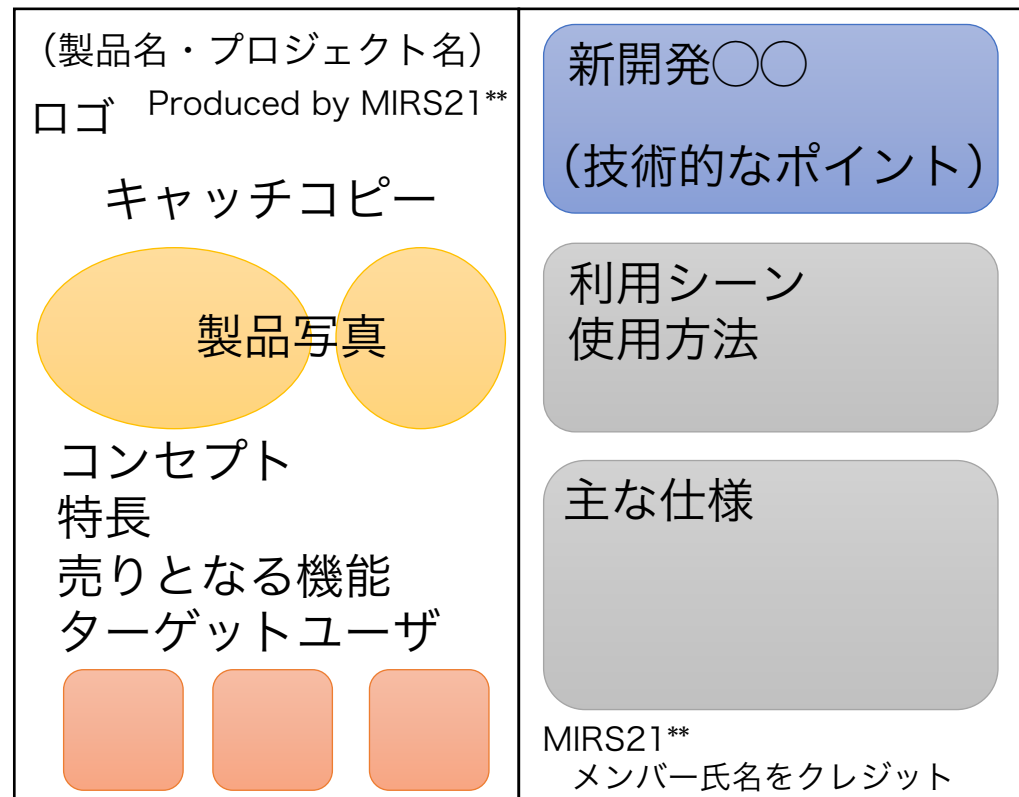


- 発表会・展示会で冊子配布
 - 製品カタログ（システム提案をベース）
 - 1チームあたりA4カラー見開き2ページ

構成例

- ✓ できるだけ概念を図式化
- ✓ 写真・絵・図を多用
- ✓ 言葉を吟味

納期：12月25日



実証実験計画



- 期間
 - 令和6年1月15日（月）～22日（月）
- 場所
 - 沼津高専 学内
- 実証実験の期間、場所、実施内容を詰めて、利用教室の担任の先生や教務主事・学生主事に許可を取る必要があります

実証実験計画書を作成してください

1. 実証実験名 納期：12月18日
2. 実験目的
 - 何を検証したいのか
3. いつ
 - 一定期間設置するのか、デモの時間を設定するのか、など
4. どこで
5. どんな実験をするのか
 - 誰がその時間立ち会うのか
6. どんな危険性が考えられるかとその対策
7. ユーザーにどんな評価をしてもらうのか

プロモーションビデオ



- チームプレゼン+学内外広報で使用する。
 - 今年度はビデオ作成を必須とします
- 社会実装実験（学内実証実験）につながる、期待感のもてる動画としてください

- 動画時間は30[s]までとします。
- 使用する音楽・キャラクターの著作権に配慮すること。

- 前回アナウンスした通りです

納期：1月12日

本日の予定



- ✓ 開発を進めてください
- ✓ 部品製作・回路製作・コード実装（プログラミング）を並行して進めること
- ✓ 基本的には作業開始時および終了時にチームミーティングを行う
- ✓ レビューができる班はレビューワーと相談すること
- ✓ こまめに**議事録**を取りドキュメントにアップしておくこと

作業記録をこまめにつけること



- ✓ 01:ミーティング
- ✓ 02:ドキュメントレビュー
- ✓ 03:ドキュメント整備
- ✓ 20:技術調査
- ✓ 23:システム統合試験
- ✓ 30,31,32:メカ/エレキ/ソフト詳細設計
- ✓ 40,41,42:メカ・エレキ・ソフト製作・試験

1日の作業で項目が異なる場合は
それぞれの作業時間、コードで登録すること
(最後に工数分析します)